

1. 情報ライブラリーセンター、環境・情報科学館及び数理・データサイエンス館の学習支援環境の整備・支援（森本）

2022 年度は主に、学習相談データの活用に関する予備検討を行った。CeMDS サポートデスクに蓄積される学習相談データの自然言語処理による活用を模索する中で、機械学習におけるいわゆるデータ拡張の必要性が明らかになったため、自然言語処理におけるデータ拡張手法の基礎検討として、文内の単語の品詞や文の自然さに着目したデータ拡張手法を検討した。並行して、2021 年度に行った教育データ活用に関する研究について、人工知能学会の研究会で口頭発表を行った。当該研究は査読付国際会議 Intelligent Tutoring System 2023 への採択が決定している。また、データサイエンス教育センター奥原講師・図書館チームとの連携のもと、CeMDS に設置する情報教育・データサイエンス関連書籍の選書を行い、約 400 冊の書籍が導入された。

2. 学術情報リテラシー支援（長澤）

①国外の大学教育における教員と図書館員の連携構築に関する研究として、フィンランドのアアルト大学のケース・スタディのうち、卒業論文のための情報リテラシー教育に関する調査結果を論文（short paper）として作成し、図書館情報学関係の国際学会（CoLIS 11）で口頭発表した。②アアルト大学の初年次学生を対象とする図書館オリエンテーションに関する調査結果を図書館情報学関係の国際学会（ECIL 2023）に投稿した（採択済）。2023 年 10 月に口頭発表する準備を進めている。③共通教育（共通基盤科目）「データサイエンス I」の「大学生に求められる情報リテラシーと図書館」の授業回を設計し、3 クラス（対面・2 クラス、オンライン・1 クラス）の授業で実施した。Moodle 上に講義の動画とスライド資料等を整備してオンデマンドによる受講にも対応した。

3. 情報ライブラリーセンター所蔵資料に関する調査研究（吉丸・中川）

三重大学情報ライブラリーセンター所蔵の和古書の調査と整理を行った。未整理和古書の OPAC への登録のため、和古書の実物をみてデータベースの作成を実施した。学術アドバイザーの中京大学中川豊准教授とともに 2022 年 12 月 23 日 24 日と 2023 年 3 月 3 日 4 日に調査を行った。50 点ほどのカードデータを作成した。

4. 図書館職員のためのスタッフ・ディベロップメント（長澤）

①図書館関係者との相談をもとに、コロナ禍により 2020 年度、2021 年度に引き続いて、三重大学情報ライブラリーセンターにおける図書館職員のためのスタッフ・ディベロップメント（SD）の実施を見送った。②情報ライブラリーセンターの 1 階の壁面を用いて学内の学習・研究成果を発信する学内の他部局との連携プログラムについては、実現の可否について検討する予定であったが、コロナの 5 類感染症への移行後の状況をもとに検討することとした。

5. 学生による図書館サービス（吉丸・長澤）

人文学部の図書館司書資格課程科目「情報サービス論」の演習課題として、三重大学人文学部の吉丸雄哉教授が担当する授業回において、受講生が参考図書（レファレンス・ブック）を紹介するレフ

アレンス POP を作成し、情報ライブラリーセンターの参考図書コーナーで参考図書の企画展示を行った。展示期間は 2022 年 6 月 28 日から 2022 年 8 月 10 日までの期間で、オープンキャンパスで高校生にも紹介した。受講生が参考図書に関するクイズを作成して閲覧者からの回答を募集し、学内の学生 3 名、県外の高校生 1 名から回答を得た。

6. コミュニティにおける図書館のあり方についての検討支援（岡野，長澤）

地域の図書館のあり方について検討する市民団体「ライブラリーフレンズ四日市」が主催するイベントの企画・後援を行った。2022 年 10 月 15 日に開催した「あったらいいなこんな図書館」では、皇學館大学文学部の岡野裕行准教授が講演し、これをもとに市民の参加者が意見交換会を行った（市民の参加者 79 名）。これに先立って、2022 年 9 月 3 日に、10 月 15 日の意見交換会のファシリテーターを務める市民団体のメンバーを対象として、三重大学情報教育・研究機構の長澤多代准教授が「ブレインストーミングの方法」のワークショップを行った（参加者 10 名）。

室員の活動

【地域貢献】

- ・長澤多代「ファシリテーターのためのワークショップ：ブレインストーミングの方法」ライブラリーフレンズ四日市，中部地区市民センター，三重県四日市市，2022.9.3.
- ・長澤多代 桑名市教育委員会 桑名市立図書館 図書等選定審査委員（副委員長）
- ・長澤多代 伊勢市学校図書館活性化支援事業業務受託者選定委員，伊勢市教育委員会（委員長）

【論文・報告等】

- ・NAGASAWA Tayo. "Collaboration between academics and librarians in information literacy instruction at Aalto University following a decentralising restructure". In Proceedings of CoLIS, the 11th. International Conference on Conceptions of Library and Information Science, Oslo, Norway, May 29 - June 1, 2022. Information Research, 27 (Special issue), 2022, paper colis2215.

【外部資金による研究】

- ・長澤多代「正課教育と正課外教育をつなぐ学習支援に関する総合的研究」〔研究分担者〕（研究代表者：山口大学教育・学生支援機構 林透）科学研究費・基盤研究 C，2020 年度～2023 年度（20K02969）

【研究発表（口頭発表）】

- ・志賀 憲太郎，森本 尚之．授業形態の多様化に着目した大学横断型シラバス解析のための精選補助情報結合トピックモデル，人工知能学会 第 96 回 先進的学習科学と工学研究会(SIG-ALST) 7-12 2022 年 11 月
- ・NAGASAWA Tayo. "Collaboration between academics and librarians for information literacy instruction: based on a case study at Aalto University", Research Seminar, Information Studies, Faculty of Social sciences, Business and Economics, Åbo Akademi, Turku, Finland, 2023.3.13.

- ・ NAGASAWA Tayo. "Collaboration between academics and librarians in information literacy instruction at Aalto University following a decentralising restructure"11th International Conference in the Conceptions of Library and Information Science (CoLIS 11), Oslo Metropolitan University, Oslo, Norway, 2022.5.30.
- ・ NAGASAWA Tayo. "Collaboration between academics and librarians in information literacy instruction at Aalto University following a decentralising restructure", Research Seminar, Information Studies, Faculty of Social sciences, Business and Economics, Åbo Akademi (online), Turku, Finland, 2022.4.4.

【招待講演】

- ・ 長澤多代「大学図書館の学習支援」筑波大学附属図書館，令和４年度大学図書館職員長期研修，筑波大学オンライン，2022.7.15.

【その他】

- ・ 長澤多代. 国立国会図書館『カレントアウェアネス』編集企画員
- ・ 長澤多代. 情報メディア学会 編集委員会 編集委員
- ・ 長澤多代一般社団法人大学教育学会 広報委員会委員